

—トップが語る—

わが社の成長戦略

大阪北部産業界

山本水庄工業所 社長 山本 知弘氏



わが社は、油水庄を用いた耐圧試験機やハイドロフォーミングマシン、バイブベンダーなどの各種加工機を製造販売している。高水圧技術や加工技術で長年培ってきた実績が強みだ。2020年は、新型コロナの影響もあり、働き方がさらに変革するだろう。実際、打ち合わせ等に行かななくてもテレワークやテレビ会議を利用する機

会が増えた。それらは働き方を変えるひとつ

のきっかけとなつた。

20年前半は厳しい状況が続くとみている。

だが、エリアをえて

リスクヘッジすること

は難しい。また、顧客からの課題についてオーダーメードで対応す

るためテレビ会議だけ

での進め方は厳しい。

商談をまとめる時期や機械の試作時には高い

スキル、ノウハウを持った者の證明が必要である。そのために入材育成へ力を注いでいく現状である。

コロナ収束後の会社の方向性は大きく変わるのであろう。ならば、

新しい発想が必要では

ないか。IOT（モノのインターネット）や人工知能（AI）化は進むとみていく。

海外拠点のベトナム

は新型コロナの影響は

特になく、設計業務は

順調だ。向上心の高い

人材が多いので、他社

からの仕事を積極的に

受け、設計技術を高め

るとともに信頼を獲得

している。

今年は創立90周年を

迎え、さらなる飛躍に

つながる取り組みを進

めていき、相互扶助を

モットーとした会社を目指す。韓国、台湾、タイなどを複数に外注先を広げていく。

創立90周年迎え、さらに飛躍

新規が需要ではないか。IOT（モノのインターネット）や人工知能（AI）化は進むとみていく。

海外拠点のベトナムは新型コロナの影響はないが、設計業務は特になく、設計業務は順調だ。向上心の高い人材が多いので、他社からの仕事を積極的に受け、設計技術を高めるとともに信頼を獲得している。

今年は創立90周年を迎えて、さらなる飛躍につながる取り組みを進めていき、相互扶助をモットーとした会社を目指す。韓国、台湾、タイなどを複数に外注先を広げていく。

